

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金	開始 年 度	昭和10年度
----------------	--------------------	-----------	--------

団 体 名	一般社団法人 函館国際観光コンベンション協会
-------	------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館国際観光コンベンション協会補助金の交付基準
-------------------------	--

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	同協会の事業費および管理のうち人件費（ただし、役員報酬を除く）にかかる補助金である。
目 的	(目 的) 本市の観光振興および地域経済活性化のため
・ 効 果	(効 果) 本市の観光行政推進に対する協力・支援，観光産業の活性化および地域経済の振興

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	繰入金	計
		市	その他					
収 入	26	34,400	400	636	19,604	1,299		56,339
	27	34,400	669	255	16,825	1,080		53,229
	28	34,400	195	2	16,555	614		51,766
	29	34,400		217	16,600	1,285	2,000	54,502
	30	34,400	170	581	15,490	1,219		51,860
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費				計
	26	29,521	3,403	22,337				55,261
	27	29,687	3,463	19,466				52,616
	28	28,685	2,824	18,972				50,481
	29	27,585	3,302	22,396				53,283
	30	29,084	2,366	19,218				50,668

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	市の観光振興ひいては経済振興上多大な貢献があり、明確な公益性がある。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	上記の公益性に鑑み補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	会員の獲得、収益事業の充実に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	観光行政を遂行する上で、本団体は行政では対応できない部分を補完しており、補助によることが効果的である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	市の基幹産業である観光産業やコンベンション誘致等において、行政と分業・連携しながら活動しており、市の観光振興行政にとって必要不可欠な団体であるため、当面継続して補助する必要がある。
5	前年度繰越金は生じていないか	☒	経費の節減に努めている結果でもあるが、事業の充実に努める。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	主な自主財源である会費はその年の景気等によって大きく左右されるため。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

団体独自事業, 関係機関との連携事業など各種実施するなかで, それぞれの事業により参加者, 来客数, 誘致数, 満足度等効果を測定している。

(達成状況)

主な事業(平成30年度): 国内プロモーション, 海外プロモーション, 情報発信事業, 観光客・コンベンションのホスピタリティ推進事業, 観光施設整備事業

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☒	
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 会員の獲得, 収益事業の充実のため, 収益事業への参画を促し, 補助金の縮減に努める。 (見直しの時期)
☒ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	

(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)
-------------------------------	-----------------

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 元 年度	☒ 終期到来時に再検討	令和 2 年度